

# 学習指導計画

岡崎西高等学校

教科(科目)	国語 ( 国語総合 )		授業者	美濃羽 絃子
日時	平成28年 7月 13 日(水) 第4限		対象・場所	1年4組40名 1年4組教室
単元	小説1 羅生門 (9時間)			
本時の位置	前時に書いた意見文をもとに競技ディベートを実践する。(9時間目)			
論理的思考の観点	④事象の関係性について洞察する。 ⑥議論や論証の構造を判断する。			
指導計画・本時の過程	導入	1.ディベートの手順、プリント類の書き方を説明する。(5分) ・ディベートのやり方、自分の役割、プリントの書き方を理解する。 2.自分の役割の確認、論の流れの確認などを行わせる。(5分) ・各班で試合の打ち合わせを行う。		
	展開	「老婆の発言は正しい 是か非か」という論題でディベートを行う。(35分) ・肯定側、否定側それぞれ4人の班に分かれ、試合を行う。 ・試合の進行は教員が一括して時間を計測し、指示を出す。 ・各班には2人の審判をつけ、試合終了後に講評を行い、勝敗を決める。		
	まとめ	講評内容、反省点、感想などを振り返りシートにまとめさせる。(5分)		
評価規準	・他者の意見を聞き、かつ、自分の意見を話し合いの中で主張することができた。 ・学習活動に意欲的に参加している。			
反省	1. 座席移動に時間がかかってしまい、まとめの時間が十分にとれなかった。 前時の段階でディベートの手順について十分な説明が出来ていると良かったと思う。 2. 同時に複数の試合を行ったため、発表者の声が聞きとりづらい場面があった。 次回ディベートを行う際は、大教室を使用するなどの配慮が必要であると考え。			